

開催日

平成30年10月29日 月曜日

開会 13時30分

閉会 15時50分

会議場

富士市立高等学校 2階 会議室

出席委員

【委員】

畑 隆 櫻井 正人 鈴木 愛美 畑 裕美

村田 猛 矢崎 進 山田 雅彦 岩田 享

池田 将章 味岡 俊雄

【オブザーバー】

安倍 徹 望月 ゆかり 齊藤 隆裕

開会

○会長あいさつ

- ・この6月と9月に市役所プランの中間発表と最終発表の発表会があった。
- ・発表会では、富士市立高校の生徒が、熱心に取り組み、また生き生きと頑張っているという様子が発表会で伝わってきた。
- ・探究学習には、生徒の自主性、活気を引き出す効果があると感じた。
- ・今日は、探究の授業とは異なる、通常の授業を参観できるということで、そうした授業の中での生徒の様子をしっかりと見ていきたい。

○副会長あいさつ

- ・10月6日の学校開放の日に究タイムの発表を行った。特に代表として2年生の市役所プラン、地域の課題を発見してそれを解決していくというものだが、それを2年生の何組かが体育館で全校生徒の前で発表した。そして、3年生が進路を見定めた、自分スピーチというものを各クラス代表6人が体育館で発表した。これらの発表の時には、中学校の生徒やその保護者の方に臨席いただき、前期の探究学習の集大成ができたと思う。
- ・9月には、集中研修ということで、バスで一部宿泊をしながら国内の大学、企業等を訪問するという大きなイベントがあった。
- ・3年生で就職を目指した28人の生徒が全員合格した。3年部とキャリア支援課の指導が功を奏したと思う。
- ・公務員志望の生徒が1次試験をパスして、2次試験に進んだ生徒も5人いる。
- ・部活動でも、サッカー部が全国高校サッカー選手権の1次予選を勝ち上がり、決勝トーナメントに駒を進めている。また、陸上部も10月26日・27日の東海大会で輝かしい成績を収めた。

<p>・ 12月2日から2年生が海外探究研修として、総合探究科がアメリカ・ボストン、ビジネス探究科が台湾、スポーツ探究科がオーストラリア・ゴールドコーストで研修する。</p>	
<p>授業参観</p>	
<p>授業に関する質疑応答</p>	
	<p>(英語)</p>
(質問・意見等)	<p>Q 高校の授業を受けてから半年くらい経過したところだが、英会話でのやり取りというのは、入学当初は全然できなかったのか？もし、全くできない状態からスタートしたのであれば、すごいことだと思う。</p>
(回答)	<p>A 該当クラスの生徒の英会話力は、4月当初もそこそのレベルはあり、生徒同士の英会話もそれなりに成立していた。学校運営協議会での授業参観の時点では、生徒間に英語での会話を続けようとする意志があり、またその力も有するようになってきている。(後日確認)</p>
(質問・意見等)	<p>・ 説明が入るまで、初めての文章を見たときの印象というのは、やはり今後、大学入試などではじめての会話を聞くということも多いかと思い、有効な方法だと感じた。</p>
(質問・意見等)	<p>Q 授業参観した英語の授業は1つのクラスの生徒を習熟度別に2つに分け、そのうちの上のクラスだったという説明がされたが、もう1つのクラスは、同じような形で授業ができているのか。また、他の先生も同じようなスタイルで授業をしているのか。</p>
(回答)	<p>A 2つのクラスで、授業の進め方、内容で他のクラスの進め方の違いについては、全クラスが同じワークシートを使っていて、進め方は各担当の先生によって異なる。今日の授業で教える項目が1、2、3と3つの項目があったが、自分は項目3から始めていて、進め方というのは、それぞれのクラスの実力に応じて変えている。ただ教える内容は、絶対に押さえておきたいポイントのようなどころはどこのクラスも共通した内容となっている。</p>
(質問・意見等)	<p>・ 見た様子からは、行動が早いな、雰囲気がいいなという印象を受けた。</p>
(質問・意見等)	<p>Q 生徒同士が顔を合わせて何かやっていたのは、あれは答え合わせか？</p>
(回答)	<p>A そのとおり。生徒に質問して答えさせようとする場合には、生徒によっては英語に自信がない子もいるので、あらかじめ答え合わせをしてペアで答えの確認をさせている。</p>
(質問・意見等)	<p>・ 先生から指示を受けた後の生徒の行動が非常に早く、すばらしいと感じた。</p>
(質問・意見等)	<p>Q 生徒は名前が書いてある小さなカードを持っていたが、それは授業で1回は発言をさせようとする意図があるのか？また、あの授業の中では、指示だけだったが、挙手を期待するような場面は考えていなかったのか？</p>
(回答)	<p>A 指摘のとおり、小さな紙は名前カードで、多くはないが、生徒によっては英語に自信がない子もいるので、あらかじめ答え合わせをしてペアで答えが確認でき</p>

	<p>ているものに関しては、安心して発言することができるという意味で、指名をして発言を求めている。挙手の場面というのは、例えば、「小学校は英語でなんて言う？」という質問については、多くの生徒がすぐに答えが出てくるので、あえて指名をして発言を求めるのではなく、生徒の知識を活用して、知っている生徒にどんどん解答を言ってもらう形を取っている。</p>
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校も英語の授業は、すべてオールイングリッシュにすべしという指示を受けている。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今日の授業では、プリントも先生の指示もすべてオールイングリッシュになっていた。印象としてはやり慣れているなという感じを受けた。先生の指示のセンテンスは大体似ているので、生徒が先生と分かり合えているなど感じた。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 担当の先生は、必ず理解度の確認をしていた、対話的、協働的な学びができていると感じた。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校の授業でも挙手はさせていない。その理由は、先生からいつ指名されて回答を求められるか分からないので、常に緊張しているという状態となるからである。これを挙手をさせてしまうと、いつも同じ生徒ばかり挙手をするようになるから、参加したくないと思う生徒は常に参加しないままで授業が終わってしまう。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 富士市立高校は施設的にも、環境面でも恵まれているなど感じた。具体的にいうと、各教室にあるプロジェクターというのは、当たり前のように利用されているが、他の学校ではやっと導入されたというところもある。いかにこのプロジェクターをうまくバランスよく組み合わせ利用していくかということは、これから研究課題だと思う。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師と生徒との人間関係が、一朝一夕には成立しない人間関係というものが積み上げられて、今日の授業で、いいものが見られたかなと思った。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ さりげない先生の仕事かもしれないが、配布したプリントに2つ穴を開けて、ファイリングをさせるという教育も、英語の授業とは関係ないかもしれないが、これから社会人になって、さまざまな印刷物を自分でファイルして整理するという事は大切なことだと思う。
(質問・意見等)	<p>Q 自分が大切にしているものはいったい何なのか、それを失ったときにどうなのかということについてプリントに質問があったが、今回の場合、初めて見た授業なので十分には理解できていないかも知れないが、右足を失ったアスリートについて記述された英語の教材の中で、ある生徒は、「家族」ということを書いていた。身体的な機能を失った場合と、自分が大切にしている家族とか信頼などを失った場合というのは、生徒が書いてきた場合に、その辺りをどのように折り合いをつけて、これからどのように展開していくのか。</p>
(回答)	<p>A 自分自身も迷いながら、作成したワークシートである。確かに家族とか、お金、命等の身体的なものではない答えがたくさん出てきていて、落としどころが難</p>

	<p>しいなと自分自身も悩んでいたが、学習の前と後で、少し質問を変えていた。学習前では「大切にしている物は何か?」、学習の後は「すごく大変な経験をした時に、どのように乗り越えていくか?」というような質問に変えて、結論から言うと、あまり落としどころが見つけれられてはいないが、少しでも失ったショックとそこにどう立ち向かうのかという視点を生徒に植えつけることができればと思い、作った質問である。</p>
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ スライドを利用しての授業を普段からされているかと思うが、先生が板書する時間を省略して、スムーズに授業展開ができていいと思う。先生が指示を発するとともに、同じ内容のスライドが映し出されることで、うっかり聞き逃してしまったような生徒も、きちんとこれから行われることが理解できて、結構親切な授業だなと感じた。ICT機器を上手に使う授業を進行しているということがよく理解できた。
(質問・意見等)	<p>Q 授業の前に予習をさせていないという説明があったが、昔なら英語だけは予習しなければいけない教科で、最近でも反転学習などといわれる中で、あえて予習をさせないで初見で授業を行うことにした背景等について先生の考えを聞きたい。</p>
(回答)	<p>A 予習をさせない理由は、学年共通で、予習のノートを作ろうというものがあるが、そのタイミングを少し変えたいと考えているからである。例えば初めて読んだ文章で単語の意味が分からなかったときに、すぐに辞書を引いてしまうと、分からない単語を創造する力がなかなかつかないと考えている。このため、最初の授業では、予習をさせずに初めて英文を読んでもらい、1回読んだ後で、分からない単語の意味を先に考えておいて、その後から単語を調べて実際に想像した意味と辞書で調べた結果が合致していたかを確認させたいという目的もあって、予習はさせていない。</p>
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然な姿で英会話をするというときに、うまく身振り手振りを使いながら、まあ上手に話すことができなくても、身振り手振りでやることによっても相手に伝わるというところは、すごくよかった。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先生は英語で話しているが、生徒は必死に喰らいついていて、どの生徒もマイナスのイメージはなく、積極的に授業に参加していた点がすごくよかった。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英語の授業は、最初のオープニングから生徒に起立してもらって、お互いに会話させるという方法が新鮮で、なるほどと感心させられた。授業に様々な工夫が感じられた。
	<p>(保健体育)</p>
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体的に生徒は楽しそうに授業が行われていた。何気ない仕草だったが、コーンが倒れたら、すぐ立て直すなど、子どもたちに自主性があった。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ アルティメットの授業の中で生徒の顔に笑顔が溢れていて、声を自然と掛け

	<p>合って、最初のうちは先生がいろいろな声掛けをしていたが、そのうちに生徒たち同士が、「もうちょっと走った方がいいよ。」とか、難しそうなときは「危ないよ。」というような声が自然とかけあっていたことが、大変すばらしいなと感じた。</p>
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> 先生と生徒がとてもいい信頼関係ができていて、意欲的に、また楽しく、でもしっかり学んでいる、充実した授業になっていると感じた。生徒のリアクションが早く、返事もとても快活で、いい空気を感じた。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> 非常に生き生きと、また楽しくやっている感じがした。授業の最初の300メートル走も、手を抜いて走っている生徒は誰もおらず、すばらしいなと感じた。
(質問・意見等)	<p>Q アルティメットでは、ほとんどの生徒がバックハンドで投げている。フォアハンドよりも、バックハンドで投げた方が正確に飛ぶのか？</p>
(回答)	<p>A アルティメットのディスクの投げ方は、バックもフォアも最初の頃はやっている。今日の授業の目的は、走りこんでディスクを取るということで、ゲームに近づけるということを目指しているのだから、バックでもフォアでもよい。フォアで投げている生徒もいたが、そこは今日はノータッチで、とにかく走りこんでパスを取ろうということにしていた。ゲーム型式になった時に、ディフェンスによりバックを押さえられたときは、もうフォアで、ピボット風に投げるしかないのだから、そこで初めて生徒は困ることになる。困ったときに、以前そうした時の練習をしていたでしょ、というような話になって、きっと今度はフォアを使って投げることになる。で、教えていないのだが、最後になんかさっさも行かなくなってしまうときに、頭の上から投げるという方法があるので、それを最後にとっておく、困らせて次のレベルのローを要求する、こうすればいいんじゃないの、ということをやりたいな、と思っているのだから、とにかく困った上で工夫をするということを目指している。</p>
(質問・意見等)	<p>Q アルティメットというスポーツのルールがよく分からないのですが、あのフライングディスクを持ったまま走って行ってはダメなのか？</p>
(回答)	<p>A アルティメットは、バスケットボールと、アメリカンフットボールと、サッカーを混ぜたようなルールのスポーツで、対人の時は、1対1のバスケットと同じで、ディスクを持っている人とディフェンスが向き合う形になる。なお、ディスクを持って歩いてはいけないことになっている。</p>
(質問・意見等)	<p>Q アルティメットでは、パスも2種類あって、レシーバーが走っていく方向にスーッと伸びていくパスと、走っている方向とは反対の方向に戻ってくるパスがある。このパスの使い分けというのも、きちんと理解して投げている生徒もいたし、何も考えずに適当に投げているという生徒もいたが、そうした指示はどのようなになっているのか？</p>
(回答)	<p>A ディスクが走っていく方向にカーブするローと、戻ってくるような形でカーブするローについては、まさにその部分がアルティメットの難しい部分で、</p>

	<p>投げられたディスクは下から空気が入ってくるので、そのスローをした時の風の状況だとか、ディスクの回転数とか、によってどのように変化するかわからない。そのため、何度もディスクをスローすることによって、感覚で曲がり方を覚えるしかない。回転を強く掛けるとスローが思いのほか伸びていってしまう。スローするときも、スナップを効かせる強さの工夫をゲームをしながら感覚で覚えていくしかない。風向き及びその風の強さなどを考慮しながら場数を踏んでいくしかない。</p>
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> 生徒間の関係がたいへんよく、1人1人のことが分かり合えているような、いい感じを受けた。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> いいプレーをしたときには、歓声が上がったりしていた。失敗したプレーを笑うのではなく、いいプレーに歓声を上げていることや、惜しめない拍手を贈るということは、非常によいことだと思う。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> 生徒たちは、本当に楽しそうに元気よくやっていたのがよかったと思う。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> 生徒同士がお互いに教えあっているというか、生徒が走りこんできて、投げる役の生徒が投げるタイミングに「今だ」と手をたたいたり、「ゴー」と言ったりだとか、先生が教えなくても生徒同士がよく教えあっているなということが見られ、非常によかったと思う。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> うまくフライングディスクをキャッチできたときに自然に拍手が起こったりして、本当に生徒同士、先生と生徒の信頼関係が成り立っている授業だなと感じた。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> 授業の最後に先生が生徒を集合させて、生徒に話をして授業が終了していた。自分たちが授業の指導訪問をやったときに、やはり「つけない力を見届けることを大切にしてほしい。」と指導をしている。最後に授業の終了直前に振り返りとして、生徒たちの言葉で話してもらい、生徒に今日の授業のよかった点、悪かった点について言えると、更にその生徒が授業でどのようなことを学んだのか掴めるので、その点もよかった。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> 先生と生徒の間の雰囲気や和やかで、それでありながら先生の指示に従って生徒が動いて、明るい雰囲気が作られていたことは、非常にいいことだなと感じた。

○学校からの報告

◇一日体験入学

- 今年度の一日体験入学は8月2日に行い、来校者数は昨年度の1.3倍ぐらいあり、中学生730人、保護者262人の参加があった。
- 内容としては、一昨年度から昨年度にかけて内容の見直しがあり、各学科ごとに学校の説明、体験授業、部活動見学、更に加えて総合探究科、スポーツ探究科は、卒業生による高校生活、進路等の話を加えた。
- 「富士市立高校に何を期待しているか？」という当日のアンケートの結果では、「楽しい高校

生活」については、生徒・保護者ともに期待が高くなっていたものの、2番目、3番目の期待は、中学生は部活動、海外探究研修だが、保護者は、授業の内容であるとか、本校の進路実績となっており、生徒と保護者とでは若干意識のずれが読み取れた。

- ・当日は異常な暑さとなったため、熱中症対策に大変苦労した。本校は、各教室、視聴覚ホール等エアコンを備えており、また本校同窓会からペットボトルのミネラルウォーターの提供を受け、それを来校者に配付して何とか暑さを凌ぐことができた。今後は、こうした対策も必要になってくると感じた。

◇本校生徒の進路状況

- ・本年度3年生は238人いるが、そのうち4年制大学志望は111人、国公立大学1人が合格した。私立大学も86人の出願があり、13人合格した。(10月15日現在)
- ・就職で学校紹介で希望した生徒は28人全員が内定をもらった。

◇部活動の大会結果について

- ・全国大会に出場した選手、部活動としては、夏のインターハイに陸上部の山崎玲真君が出場、チアリーダー部が全国高等学校ダンスドリル選手権大会に出場した。陸上部は、10月に開催されたU-20、U-18の日本陸上選手権大会に出場し、U-18に出場した宮川颯太君が男子400メートルで第6位に入賞した。
- ・東海大会では、10月27日、28日の両日に東海高等学校陸上競技選手権大会、いわゆる新人戦が行われ、男子400メートル宮川颯太君優勝、男子110メートルハードル岸叶太君第7位、男子400メートルハードル宮川颯太君第2位、男子4×400メートルのリレー第2位、女子800メートル岩山佳央さん第6位と、出場した選手全員が入賞を果たした。

◇夏季集中研修について

- ・総合探究科1年生は例年どおり東京に2泊3日で行き、初日は大使館訪問、2日目は産業能率大学で大学生と一緒に午前中は自由が丘のフィールドワーク、午後は大学生と一緒にワークを行った。3日目は、マイナビ本社で社員とワークを行った。
- ・総合探究科2年生は3日間、英語オンリーでコミュニケーションワークを行い、12月2日からの海外探究研修のボストンに向けての事前研修を含めて、ガーナ、スリランカ、バンラデシュ、ミャンマー、ナイジェリア、ベトナム出身のハーバード大学、東京大学、立命館APU在学中の学生を招聘して研修を行った。
- ・総合探究科3年生は社会課題解決型スタディツアーということで、関東圏に足を運んで東京大学、東京学芸大学、北海道大学、筑波大学、早稲田大学、慶応義塾大学、明治大学、法政大学、同志社大学、立命館大学、そのほか伊藤忠商事の社員、ジャイカからファシリテーターとしてついていただき、午前中はフィールドワーク、午後は課題解決型のワークを行った。
- ・ビジネス探究科1年生は東京に2泊3日で、伊藤忠食品の物流、東京証券取引所、あずさ監査法人、最終日はJALの研修センターを中心に、研修を行った。2年生は、台湾の事前研修ということで、語学を中心とした研修を行った。3年生は富士商工会議所青年部、20社に協力を得て3人のチームでインターンシップという、職場体験ではなく、実際に職場に行ってその職場のいいところ、悪いところを高校生の視点で見て、それを最後にアウトプッ

トするようなことを行った。

- ・スポーツ探究科は、1年生は毎年カーリング実習を行い、2年生はキャンプ実習の予定だったが、今年は台風の影響で天候が思わしくなかったことから、1日目は例年どおり村営山中湖キャンプ場でキャンプを行ったが、2日目は学校に帰校し、錬成館の宿泊施設で食事を作りながら研修を行うことになった。3年生は、富士山登山の予定だったが、やはり台風の影響で実施できず、急遽富士宮市の富士山世界遺産センターで研修を行い、また10月24日に宝永山登山を行った。

◇前期探究学習発表会・公開授業

- ・10月6日（土）午前公開授業、午後は探究学習の全体発表会ということで、学校開放を行い、今年度は中学生、中学生の保護者、本校在校生の保護者又は家族、県内外の高校関係者96人の参加があった。
- ・この日、社会探究βの授業では、本校のPTAと地域のまちづくり協議会、市役所職員を本校に招き、公開授業を行った。

◇今後の予定

- ・11月12日の社会人講話では、本年度もfきやるの協力を得て、社会人に来校していただき、13ブースに分けて、興味のある、これからの進路を含めたキャリア教育ということで、1年生を対象として教室ごとに別れて実施する。
- ・12月2日～7日に2年生は海外探究研修
- ・12月16日～18日にスポーツ探究科の1年生が集中研修としてスキー実習
- ・12月20日に防災訓練、薬学講座
- ・12月25日に3年生がセンター試験の模擬演習
- ・1月23日に社会人講話。今年度は、株式会社オリィ研究所、代表取締役吉藤健太郎氏の講演
- ・1月25日に健脚大会
- ・2月14日が1年生、2年生の究タイムの後期発表会、
- ・3月1日が卒業式
- ・3月5日に高校入学者選抜試験があり、15日が受験報告会

学校からの報告について意見交換

(質問・意見等)	Q 一日体験入学のアンケート結果について、過去4～5年ぐらいのデータと比較して掲載することはできないか？
((回答))	A 4～5年前までのデータがあるかどうかは分からないが、昨年度のデータはあるので、来年度に資料を作成する際、前年度との比較する資料を示せばいいと思う。
(質問・意見等)	Q 進学希望の生徒の中で、AO入試でも、推薦入試でもない形、つまり一般入試でトライする生徒はどのくらいいるのか？
((回答))	A やはり、AO入試、推薦入試を使っていく生徒の割合の方が多い。一般入試のみで、大学入試を考えているという生徒はそんなに多くはない。

(質問・意見等)	Q学校としても、大学入試については、AO入試、推薦入試を薦めているのか？
((回答)	A薦めているというわけではない。もちろん一般入試に対応できる力をつけさせたいと考えて、授業、土曜講座、放課後補講等を行っているが、実際問題としてなかなか一般入試で合格するのは難しい面があるので、AO入試や推薦入試を使いながらチャレンジしていく生徒の方が多いという状況である。
(質問・意見等)	・センター試験、やがて数年で様相が変わるが、差し当りはセンター試験で大学を目指す数値が重要なので、そのような対策を取る必要がある。
(質問・意見等)	・大学で英語の基礎の文法が身につけていない学生がかなりいる。これまでの体験でそのように思っており、英語学習のトレンドが会話的な方向に流れた時期が大部前にあったが、大学に身を置くものとしては、その後しばらくはカオス的な状況になったと感じている。1年生から2年生にかけて文法の基礎をきちんと身につけさせるということが重要かと思う。
(質問・意見等)	Q社会探究βの授業では、PTA、まちづくり協議会等の方に参加してもらっているとのことだが、こうした団体の中から何人ぐらいの方が参加しているのか？
((回答)	Aそれぞれ5人前後依頼し、グループに1人ないし2人入ってもらい、インタビューという形で「生活の中で何か課題があるか？」等について検討する。もう1つワークがあり、それをその方たちと一緒に生徒が考えるというような授業になる。
(質問・意見等)	Q教育環境の変化によっていろいろと感心を持つ親が増えているので、そうした保護者に向けて、富士市立高校のよさをどのようにPRをしようと考えているのか？
((回答)	Aあくまでも本校の授業として行っているのみで、広報としての意味合いはない。
(質問・意見等)	・自分の知り合いで、子どもが富士市立高校に在学していた人がいる。その知り合いの話では、何年か経ってから公開授業とは別の意味で、市立高校のよさがだんだん分かってきた、じんわり分かってきた、ということで、学校のよさが口コミなどでも広がってくると思うが、こうしたことでだんだんと市立高校のよさが広がってきているなど私は実感している。
(質問・意見等)	Q平成30年度に就職を目指した生徒28人全員が内定をもらったという説明があったが、具体的にどのような企業への就職が決まったのか、差し支えない範囲で教えてほしい。
((回答)	A主なところでは、富士市農協に3人、富士信用金庫に2人、日本郵便株式会社東海支社に2人、一般事務で静岡スバル自動車、製造業でジャトコ株式会社に1人などである。
(質問・意見等)	・富士市立高校は、進学とともに就職を、いわば両方をにらみながら進路指導をしているということが特色だが、それをともに実現しているということは、大変望ましいことだと思う。

<p>(質問・意見等)</p>	<p>Q ビジネス探究科のアンケートの感想を見ると、「ビジネス探究科からも進学もできることを知った」といった意見があるなど、ビジネス探究科のアピール不足が感じられるような記述がある。私の息子は総合探究科に在籍しているが、実際にビジネス探究科の方が、むしろおもしろいことをやっているように思うが、ビジネスというと商業のイメージが強すぎて、そうしたイメージをもう少し払拭するようなことはできないか？</p>
<p>((回答)</p>	<p>A 何かいい方法はないか、学校でも考えている。普通の商業科とは違う様々な取り組みをしているので、どうアピールしていけばいいのか。課題としては捉えている。</p>
<p>(質問・意見等)</p>	<p>・中学生の高等学校への興味は、8月に実施される各校の一日体験入学がきっかけになる。そうした中学生の興味・関心はここから始まる。このため、中学校では生徒に対し、高校の一日体験入学にたくさん行きなさい、という方向に変わってきている。</p>
<p>(質問・意見等)</p>	<p>・最後にビジネス探究科のアピールということで期待する声があり、またそれについての学校の現在の取組について紹介があり、この協議会の理解が深まったので、今後アピールについて、よろしくお願ひしたい。</p>
<p>次回日程について</p>	
<p>閉会</p>	